

このニュースを地域民報への転載や各支部への配布など、積極的に活用してください。

さっぽろ  
市議団ニュース

<第1回定例会>

2016年3月14日

No. 154

日本共産党札幌市議団 事務局  
tel 211-3221 / fax 218-5124

## 高すぎる国保料、“平均保険料の据え置き”ではなく引き下げを！

池田由美議員が質問

日本共産党の池田由美議員は10日、予算特別委員会で国保料の引き下げや資格証明書の発行について質問しました。

池田議員は、「本市も認める高すぎる国保料の引き下げは喫緊の課題」とのべ、「国保加入者の平均所得が2000年の140万円から2015年の97万円に減少している」実態をしめし、「加入者の暮らしはいつそう厳しさを増している、平均保険料の据え置きではなく引き下げに踏み出すべき」「一般財源からのくり入れを全額使えば国保料の引き下げは可能」とただしました。

岩井保険医療部長は、「加入者の負担感は強いと認識しているが、そのために平均保険料の据え置きを行っており、これ以上のとりくみは難しい」と背を向けました。

また、池田議員は、「国保料の滞納が41,791世帯、資格証明書の発行が9,517世帯に及んでいる」とのべ、「資格証の発行は、“病院へ行くな”と宣告されたようなもの」と、発行やめるよう求めました。

岩井部長は、資格証について「法令にもとづいて交付している」とし、また「受診の申し出があり、医療費の支払いが困難と判断すれば速やかに短期証を交付している」とのべました。

池田議員は、「高すぎる保険料が滞納の原因だ。国から保険者支援金44億円も交付されおり、一般会計からのくり入れと合わせ、“平均保険料の据え置き”から引き下げに踏み出すべき」と求めました。

## 再生可能エネルギー普及を！市の温暖化対策推進計画の推進へ力つくせ！

伊藤りち子議員が質問

日本共産党の伊藤りち子議員は10日、予算特別委員会で再生可能エネルギーについて質問しました。

本市が昨年作成した「地球温暖化対策推進計画」で、2030年度まで温室効果ガスを46%削減（2013年度比）する目標を掲げています。

伊藤議員は、同「計画」で「太陽光発電については2030年までに6.5億kWhにする目標となっているが、現在33,500kWhにとどまっている」として、「現状をどう評価しているのか」「市営住宅など市有施設への太陽光パネルの設置をさらにすすめ、マンションにも広げてはどうか」と求めました。

城戸環境都市推進部長は、「高い目標を掲げており、達成に向けて促進をはかりたい」「市営住宅や市有施設へは幅広く設置することが求められている、関係部局と協議してすすめたい」「マンションなど設置補助を行っており、普及に努めたい」とのべました。

伊藤議員は、「米カリフォルニア州のサンディエゴ市議会が、昨年12月、2035年までに市内のエネルギーや電力を100%再生可能エネルギーでまかなう計画を全会一致で承認し、これが“質の良い、地元根ざした雇用を生み出す”」とのべていることを紹介、本市も力を尽くすよう訴えました。